

〈楷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）



吉田成美先生書

〈行書〉



井之上南岳先生書

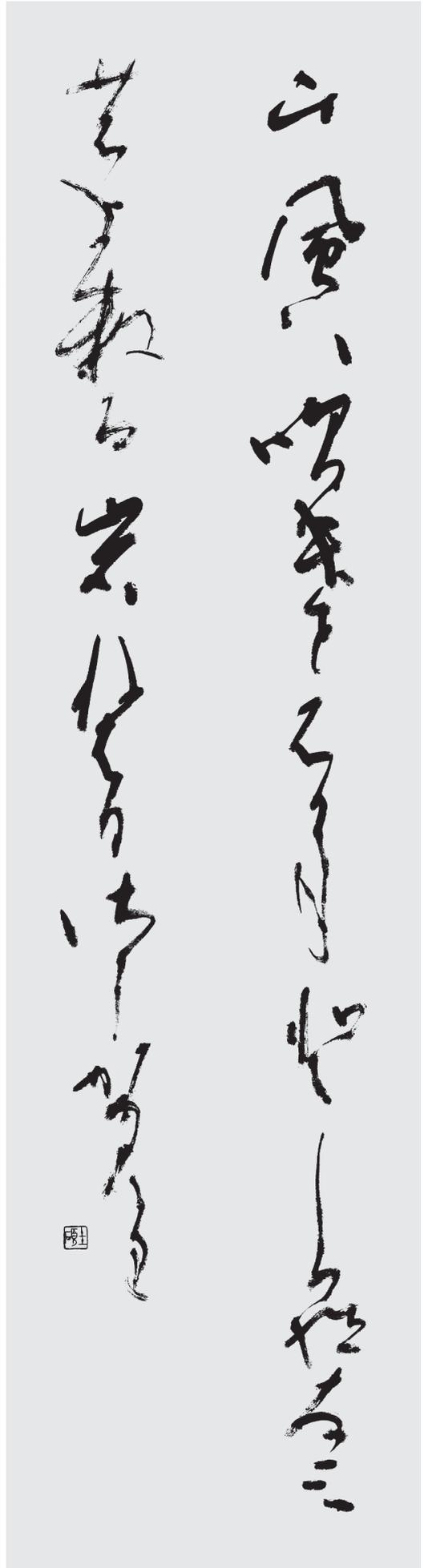
□ 澄心妙觀を得 (薛瑄)

ちようしんみょうかん
すみて汚れなく鏡の如き心で、すぐれて誤りなき観が得られる。

次号予告「壽如金石佳辰好 人與梅花淡結隣」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ 山風八^は 吹遣^けと不可^{ふか}年^ね登^と し羅^らな三^み農^の よ数^する岩^いね者^は 日^ひ佐^さしかり介^け里^り

山風は 吹けと吹かねと しら浪の 寄する岩ねは 久しかりけり

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

清原大龍先生臨

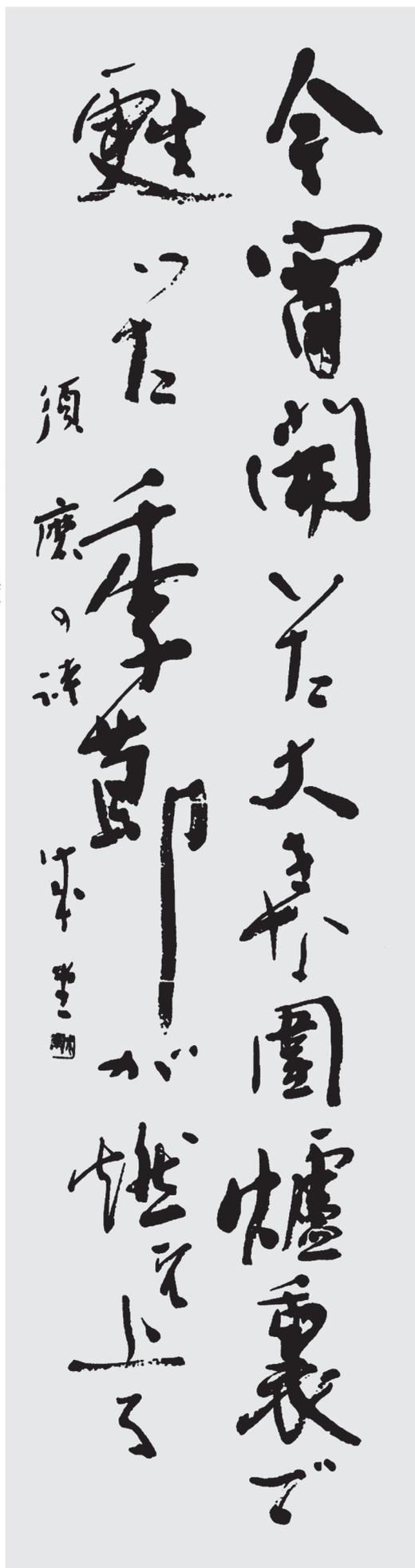
太守護軍長史雲
 陽伯長猷為亡父

▽鄭長猷造像記

太守護軍長史雲陽伯長猷為亡父

条幅随意 (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

吉田成堂先生書



□ 爐 深尾須磨の詩 今宵開いた大きな囲爐裏で 甕酒が燃え上る

条幅随意 (半折½縦のみ) (この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)



山本飛雲先生書

□ 雪月花

○ 冬の雪、秋の月、春の花は四季の自然美の象徴。四季折々のよい眺め、自然のありのままの美しさを表す。

(「禅林名句墨場辞典」より)

○ 美しい日本の四季に思いを巡らせて、自分独自の「雪月花」を書いてください。

△手本(課題例)にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横½に一枚ずつたんで提出ください。

条幅随意(半折½)漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 南山寿觴を献ず (司空圖)
終南山が揺がぬ姿にあやかつて祝杯を奉呈する。



次号予告「瑞氣滿梅花」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課題は一人一点とする)



□ 南山寿觴を献ず (司空圖)
終南山が揺がぬ姿にあやかつて祝杯を奉呈する。

次号予告「瑞氣滿梅花」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります。



△詩文書▽
やはらかに積れる雪にほてる頬を埋むることなき戀してみたし
△石川啄木のうた△

吉田成美先生書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽ 鄭長猷造像記

猷眞
為長

半紙随意
吉田成美

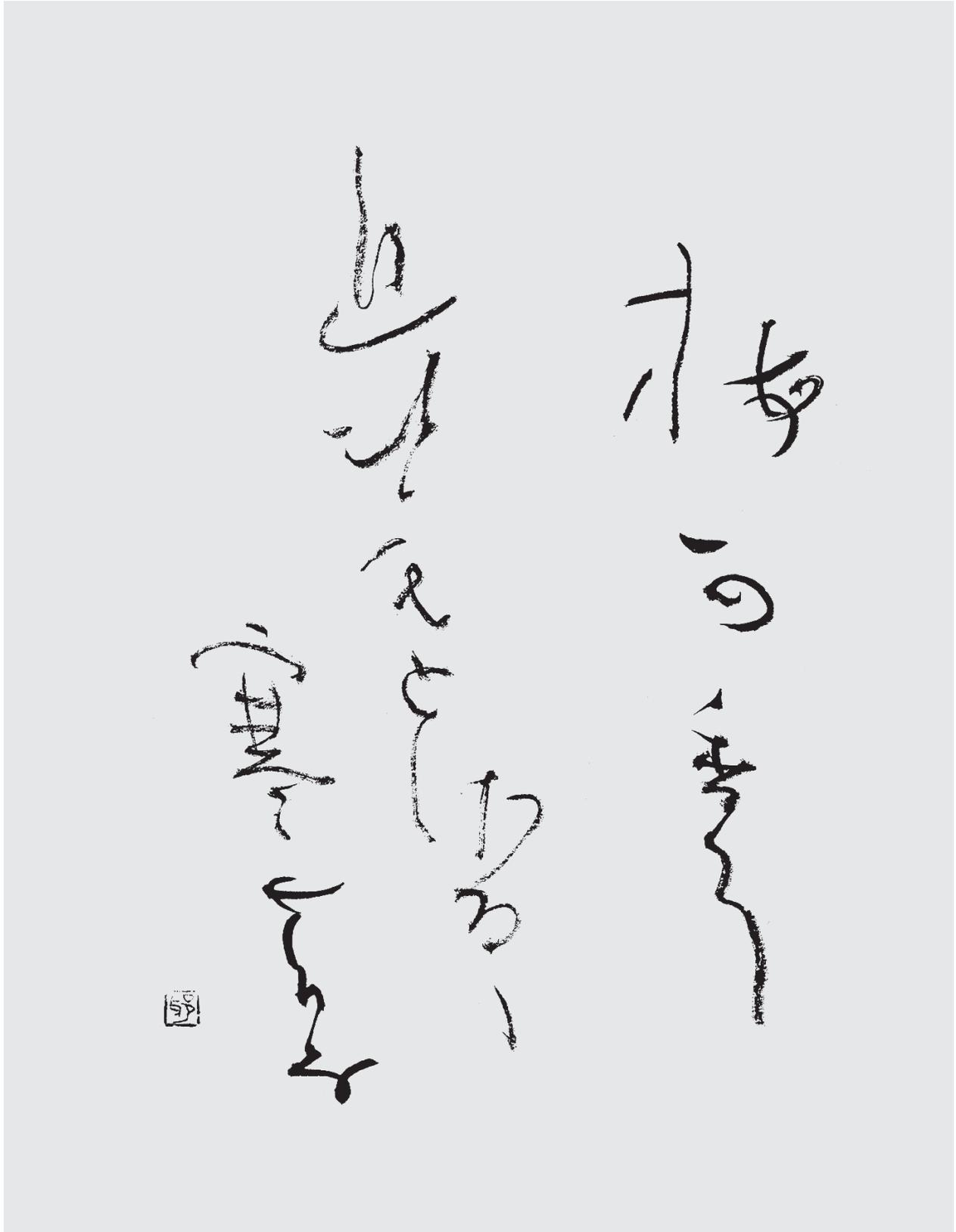
△ 臨書▽ や、堅めの筆で直線的な筆意で力強く思いきりよく書きました。

「鄭長猷爲」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

梅が香に
追ひもどさるゝ
寒さかな



△仮名▽
梅^か香^に耳^に
追^ひ毛^もど^さるゝ
寒^さ可^か奈^な
(松尾芭蕉)

小山 やす子 先生 書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります

△実用書▽

大吉 喫茶去 敬天愛人 福寿 雪月花 和顔愛語
 平安 日、新 瑞氣集門 花舞 天地人 行雲流水

姓 号

花舞	平安	福壽	大吉
天地人	日、新	雪月花	喫茶去
行雲流水	瑞氣集門	和顔愛語	敬天愛人

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書譜

△暮らしに役立つ書▽

新年明けまして
おめでとうございます。
さて、今年も例年通り、新春の初顔
合わせを兼ねまして、新年会を開催して
ご案内申し上げます。
ご多忙中とは存じますが、大いに飲んで
語り合い、輝かしく新年のスタートを切り
たく準備を進めておりますので、是非とも
ご参加くださいますようお願い致します。

野のある便箋に書いてみよう。

△26cm×18cm▽

紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

小 畠 秋 聲 先 生 書



今月のかきかたドリル (形や注意する点に気をつけてゆくり書こう！)

中学	小学6年	小学5年	小学4年	小学3年	小学2年	小学1年	ようねん
極	差	識	毎	究	思	百	ぬ
極	差	識	毎	究	思	百	ぬ

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元 紫香 先生 書

出発する

小学4年

お正月

小学3年

かきぞめ

小学2年

パン

ようねん・小学1年

(この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。)

新たな目標

中学2・3年

出発の時

中学1年

新たな決意

小学6年

希望の春

小学5年

秋永春霞先生書

△条幅¼ || 四尺画仙紙半折¼ : 68cm × 17.5cm ▽

ようねん・小学一年

次号予告「ゆめ」



□「パ」は、ハライイとトメのちがいに気をつけ、もていねいに書きましょう。

小学二年

次号予告「せつぶん」



□「め」の二画目は、一画目よりも高い位置から書き始めましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「美しい心」



□文字の中心に気をつけながら、線の方向や強さ、はね、はらいはゆつくりと書こう。

小学四年

次号予告「流れる星」



□「出」は一画目を強く、「発」は筆順に気をつけ、左右のはらいを伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

小学五年

希望

次号予告「進む勇氣」

□ 二文字の中心とバランスに気をつけ、「希」の四画目・「望」の最終画を長く書こう。

小学六年

次号予告「親愛」

新たな決意

□ 平仮名と漢字の文字の大きさに注意して、はね・はらいをゆつくりと書こう。

秋永春霞先生書

中学一年

出発

次号予告「大切な仲間」

□ 「出」は二画・三画目の流れを強く、「発」は点画の流れを意識して伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「花鳥風月」(行書)

新たな目標

□ 漢字と仮名の調和を意識して、筆脈、筆圧の変化や流れを確かめながら伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

小学六年

海中に棒になって差しこいた光
が波の動きにつれかかやきなが
ら交差する。耳には何も聞こえな
かったが太一はそう大が音楽を
聞いているような気分になった。
段 級
氏 名

「下がいちばん長い」
「木杵杖棒」
「一門問問聞」

赤道近くの熱帯で温められた空
気は上昇して南北へ向かい極地で
降下して寒気をやわらげるとい
ぼう極地の冷たい空気は赤道に
向かい熱帯の暑さをやわらげる。
段 級
氏 名

「はねる」
「二画で書く」
「はねる」
「目目目昇昇昇」
「木杵杖棒極」

小 畠 秋 聲 先 生 書